



# 小規模多機能型居宅介護



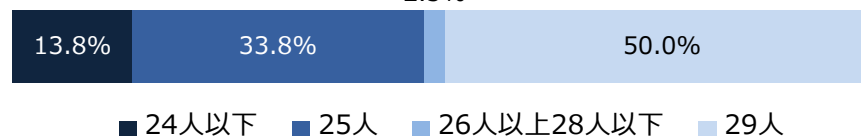
# 属性

- 定員数は、全160事業所のうち29人の事業所の割合は50.0%と最も高い
- 併設の状況は、併設施設・事業所なしの事業所の割合が38.8%と最も高い

事業所タイプ n=160



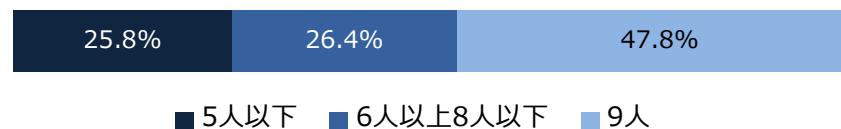
定員規模（全体） n=160



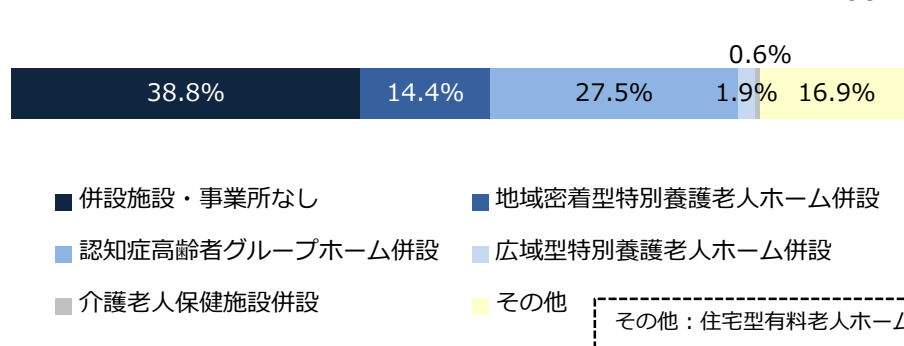
定員規模（通い） n=160



定員規模（泊り） n=159

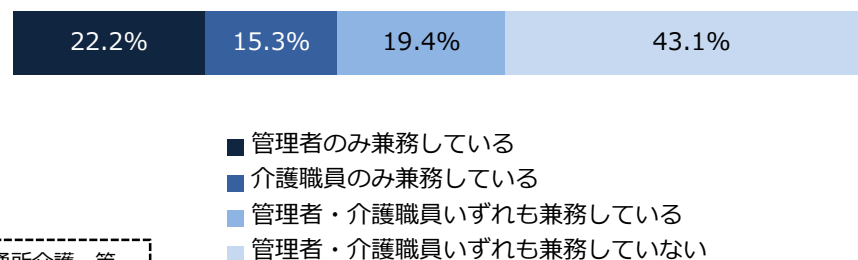


併設の状況 n=160



併設する事業所・事業所との

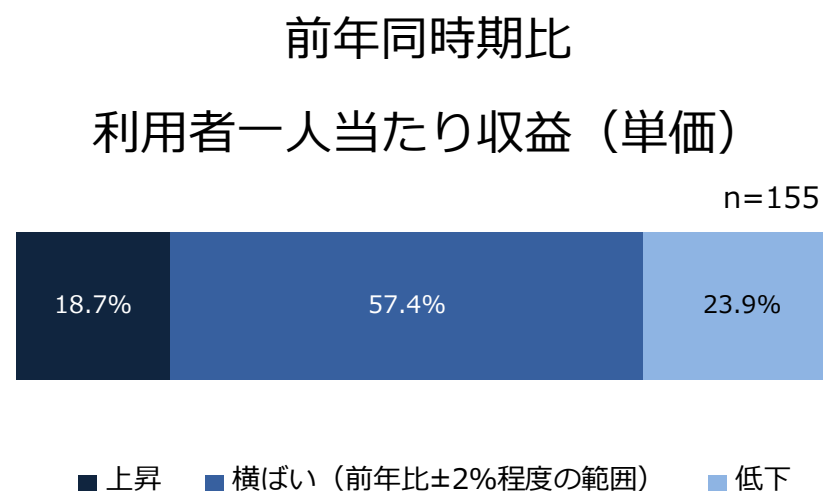
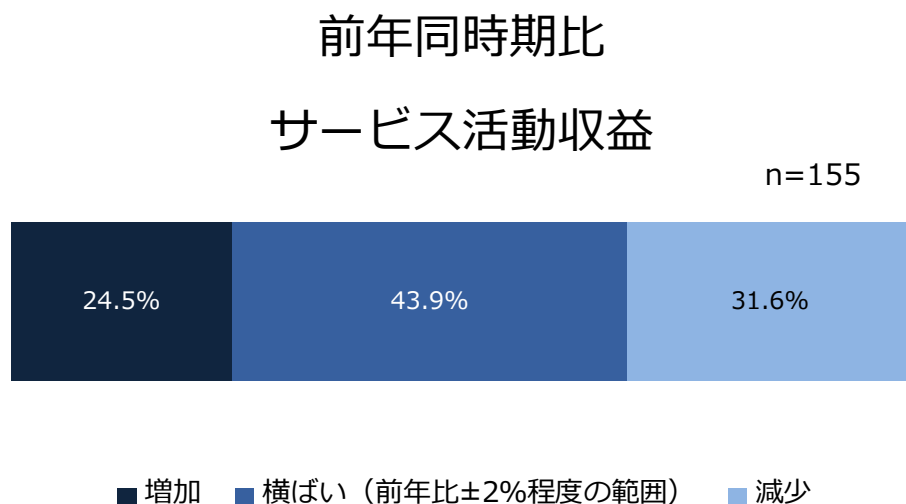
職員の兼務状況 n=72



注) 数値は四捨五入のため、内訳の合計が合わない場合がある (以下記載がない場合は同じ)

## 前年同時期比 サービス活動収益・利用者一人当たり収益（単価）

- 事業収益は31.6%の事業所で減少、単価は23.9%の事業所で低下



注) 2021年4月以降の状況について、前年同時期と比較したもの（以下、特に断りのない場合は同じ）

## 利用者一人当たり収益（単価）が上昇・低下した要因

- 単価上昇の要因としては、介護報酬改定による影響のほか、利用者の介護度の上昇や実費サービスの増加が挙げられた
- 単価低下の理由としては、コロナ禍による影響のほか、利用者の入れ替わりの多さや介護度の低下が挙げられた

### 利用者一人当たり収益（単価）

#### 上昇した要因

n=29



- 介護報酬改定による影響
- コロナ禍による影響
- その他

#### 【単価上昇の要因の内容】※抜粋

- コロナ禍による影響
  - ・ 宿泊サービスの増
- その他
  - ・ 既存利用者の介護度の上昇と実費サービスの増加

### 利用者一人当たり収益（単価）

#### 低下した要因

n=37



- 介護報酬改定による影響
- コロナ禍による影響
- その他

#### 【単価低下の要因の内容】※抜粋

- その他
  - ・ 短期利用増で月額報酬減。平均介護度が軽度化。泊り利用者の減
  - ・ 要介護者の登録者減少

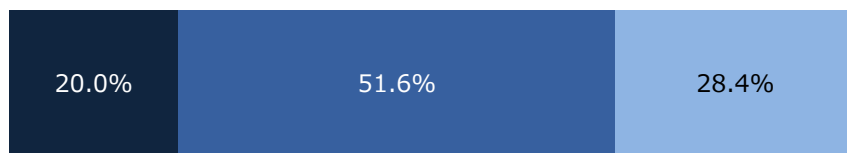
## 直近の登録率と前年・前々年同時期比の登録率の状況

- 直近の平均登録率は80.3%
- 直近の登録率の状況について、コロナ禍の前年度と比較すると横ばいが5割程度であり、コロナ禍前の前々年度と大きく相違はない

### 前年（2020年）同時期比

#### 直近の登録率の状況

n=155

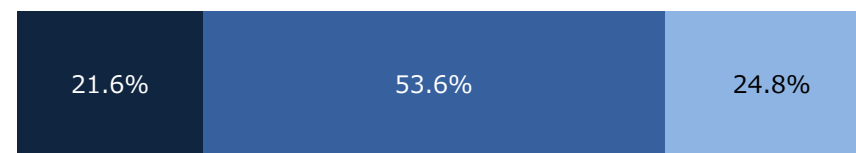


■ 上昇 ■ 横ばい（前年比±1%程度の範囲） ■ 低下

### 前々年（2019年）同時期比

#### 直近の登録率の状況

n=153



■ 上昇 ■ 横ばい（前年比±1%程度の範囲） ■ 低下

#### 【前年同時期比で登録率が変化した要因】※抜粋

- 上昇
  - ・ 通い泊り中心の利用から、通い訪問の組み合わせ、訪問のみの利用者を受け入れるようになり、通いの枠に余裕ができ、登録者増につながった
- 低下
  - ・ 新型コロナの感染拡大で新規で利用予定の方が病院を退院できなかつたり、契約の前の施設見学などが出来ない時期があった

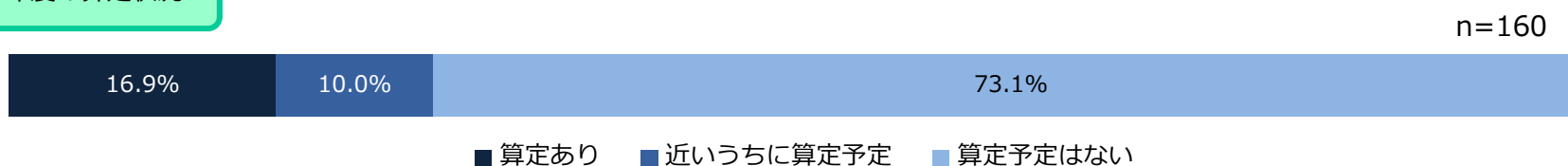
#### 【前々年同時期比で登録率が変化した要因】※抜粋

- 上昇
  - ・ 地域的に小規模の利用ニーズが高まってきたため上昇している
- 低下
  - ・ 新型コロナウイルス感染症による利用控え及び利用者の減少

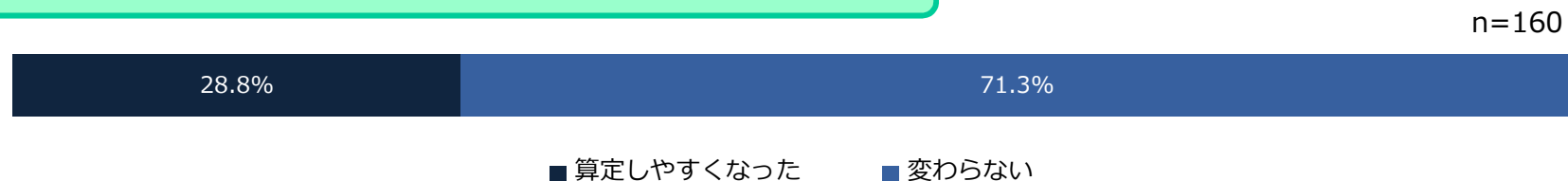
## 登録者以外の短期利用居宅介護への対応

- 算定ありの事業所の割合は16.9%
- 今次改定で行われた「登録者数が定員未満であること」の要件の緩和について、28.8%の事業所が「算定しやすくなった」と答えた

### 今年度の算定状況



### 「登録者数が定員未満であること」の要件が緩和されたことによる算定のしやすさ



### 「登録者数が定員未満であること」の要件が緩和されても算定のしやすさが変わらない理由（変わらないと回答）

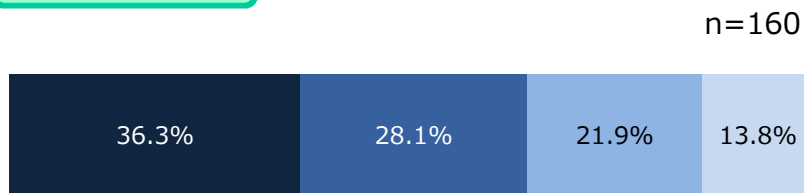


その他：日中の通い定員との兼ね合い、  
ケアマネジャーとの連携の難しさ 等

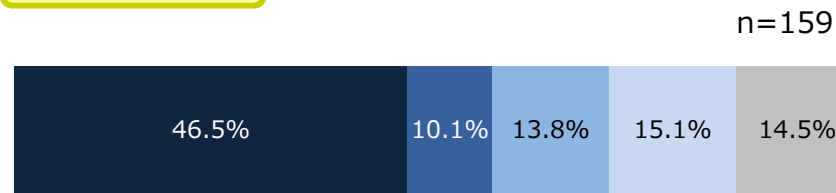
# サービス提供体制強化加算

- 前年度に加算（Ⅰ）イを算定していた74事業所のうち、今年度改定により新設された加算（Ⅰ）を算定しているのは49事業所（66.2%）

今年度の算定状況



前年度の算定状況



加算（Ⅰ）イ
  加算（Ⅰ）ロ
  加算（Ⅱ）
  加算（Ⅲ）
  算定実績なし
  算定していない

単位：事業所

前年度 \ 今年度	加算（Ⅰ）		加算（Ⅱ）		加算（Ⅲ）		算定していない		計	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
加算（Ⅰ）イ	49	66.2%	24	32.4%	1	1.4%	0	0.0%	74	100.0%
加算（Ⅰ）ロ	1	6.3%	8	50.0%	5	31.3%	2	12.5%	16	100.0%
加算（Ⅱ）	5	22.7%	9	40.9%	8	36.4%	0	0.0%	22	100.0%
加算（Ⅲ）	0	0.0%	3	12.5%	20	83.3%	1	4.2%	24	100.0%
算定実績なし	3	13.0%	0	0.0%	1	4.3%	19	82.6%	23	100.0%
（前年度実績なし）	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
<b>計</b>	<b>58</b>	<b>36.3%</b>	<b>45</b>	<b>28.1%</b>	<b>35</b>	<b>21.9%</b>	<b>22</b>	<b>13.8%</b>	<b>160</b>	<b>100.0%</b>

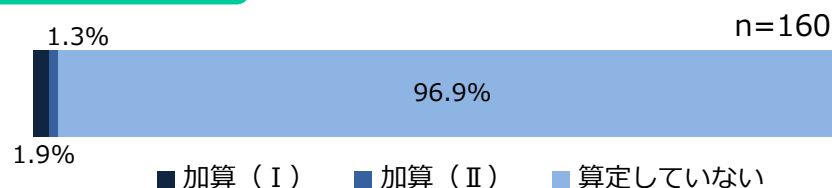
※ 割合は各行の計に対するもの

※ 「（前年度実績なし）」は、2021年度開設の事業所（以下、特に断りのない場合は同じ）

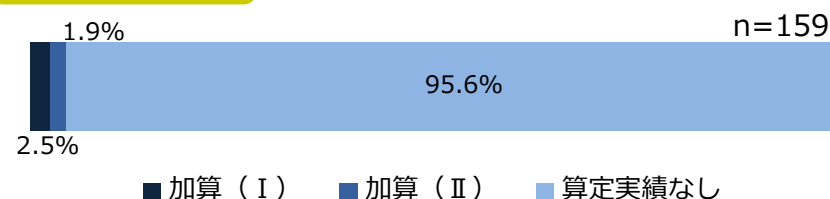
# 生活機能向上連携加算

- 今年度、算定する施設の割合は、加算（Ⅰ）が1.9%、加算（Ⅱ）が1.3%

今年度の算定状況



前年度の算定状況



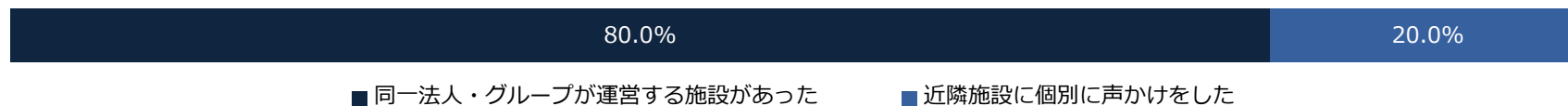
前年度 \ 今年度	今年度		前年度		計			
	加算（Ⅰ）	加算（Ⅱ）	加算（Ⅰ）	加算（Ⅱ）	算定していない	計		
加算（Ⅰ）	2	50.0%	0	0.0%	2	50.0%	4	100.0%
加算（Ⅱ）	0	0.0%	2	66.7%	1	33.3%	3	100.0%
算定実績なし	1	0.7%	0	0.0%	151	99.3%	152	100.0%
（前年度実績なし）	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%
計	3	1.9%	2	1.3%	155	96.9%	160	100.0%

単位：事業所

※ 割合は各行の計に対するもの

リハビリテーション事業所・医療提供施設との連携に至った経緯（加算（Ⅰ）または（Ⅱ）算定）

n=5



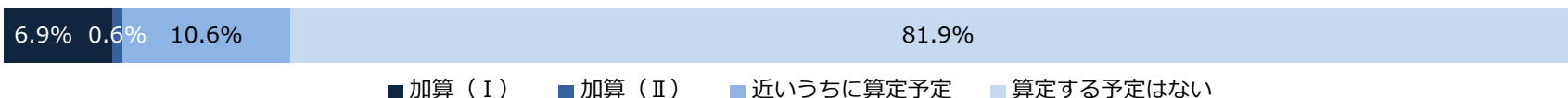


# 口腔・栄養スクリーニング加算

- 今年度においては、加算（Ⅰ）を6.9%、加算（Ⅱ）を0.6%の事業所で算定
- 前年度に栄養スクリーニング加算の算定実績がない154事業所のうち、今年度に口腔・栄養スクリーニング加算（Ⅰ）・（Ⅱ）を算定しているのは9事業所（5.8%）

## 今年度の算定状況

n=160



## 算定状況（前年度の栄養スクリーニング加算の算定状況との比較）

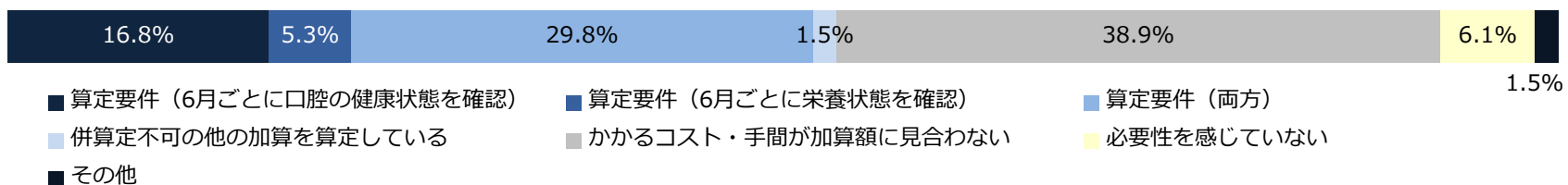
単位：事業所

前年度	今年度		加算（Ⅱ）		近いうちに算定予定		算定する予定はない		計	
	加算（Ⅰ）	加算（Ⅱ）	加算（Ⅰ）	加算（Ⅱ）	加算（Ⅰ）	加算（Ⅱ）	加算（Ⅰ）	加算（Ⅱ）	事業所数	割合
算定実績あり	3	60.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	5	100.0%
算定実績なし	8	5.2%	1	0.6%	15	9.7%	130	84.4%	154	100.0%
（前年度実績なし）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%
計	11	6.9%	1	0.6%	17	10.6%	131	81.9%	160	100.0%

※ 割合は各行の計に対するもの

## 算定なしの理由

n=131



その他：事務的余裕がない。すでに口腔ケア、栄養状態確認を行っている 等

## 認知症行動・心理症状緊急対応加算

- 今年度において、算定している事業所の割合は10.6%
- 算定していない理由としては、「短期利用可能な空きがない」、「認知症の行動・心理症状を示す利用者がいない」とした事業所の割合がともに4割程度

### 今年度の算定状況

n=160



### 算定なしの理由

n=143



その他：医師の判断による要件が満たせない事が多い、かかる手間が加算額に見合わない 等